azbil

CA1-TNG249

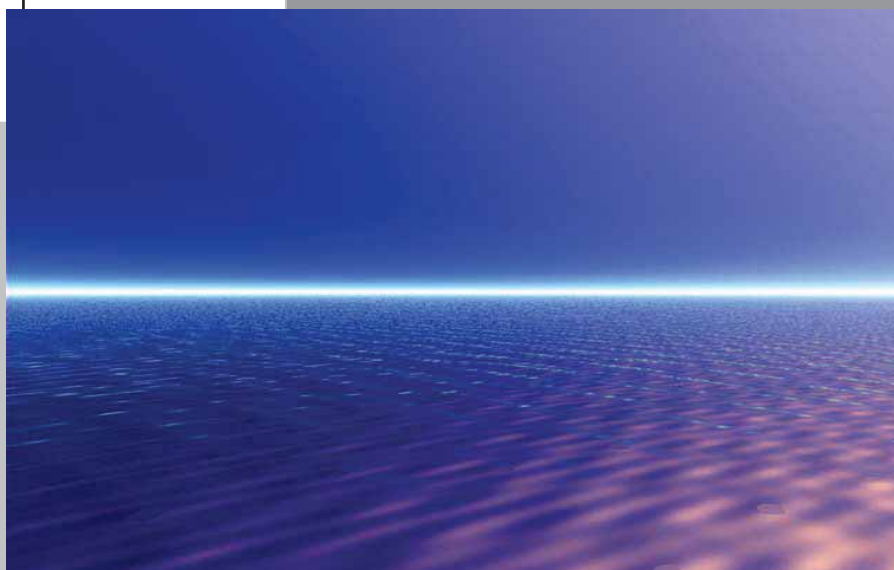
藤沢トレーニングセンター

トレーニングコース案内

（調節計／センサ・スイッチ／燃焼安全／その他）

2014年4月～2015年3月

アズビル株式会社

azbil

お願い

- このカタログは、トレーニングコースのご案内として編集されたものです。
- このカタログの全部または一部を無断で複写または転載することを禁じます。
- このカタログの内容を将来予告無しに変更することがあります。
- このカタログの内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載もれなどがありましたら、当社までご連絡ください。
- Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
- ＳＤＣ、ＳＲＦ、ＤＭＣ、ＡＨＣ、ＤＣＰ、ＡＵＲ、ＡＵＤ、ＮＸはアズビル株式会社の登録商標です。

目 次

藤沢トレーニングセンターからのお知らせ

1. トレーニングコースのリニューアル

お客さまのアンケート、新製品のリリース、市場での製品の使われ方、トレーニングの受講しやすさなどから次のコースをリニューアルいたしました。

1）新製品追加によるコース内容のリニューアル

①燃焼制御機器コース

バーナコントローラの１日目の実習機材をRA890GからBC－R25に変更し実施します。

RA890G　　　　　　　　　　BC－R25

②販売店様向け調節計／記録計の設定実習コース （2015年1月、2月CWKコースより）

新製品の記録計SR100を実習機材に組み込みます。

SR100

2）関連した実習実施のためのコース合弁によるリニューアル

①販売店向け記録計／マスフローコース（合算コースとします）

記録計（SRF200／ARF100／ARF200）の設定演習を行います。マスフローの実習時には、ARF200を設定後に組み合わせて使用します。

②販売店向け調節計/記録計設定コース（合算コースとします）

現場でよく使用される組み合わせである『調節計と記録計』について、配線し記録するための設定実習を行います。（ARF記録計と新製品のSR100記録計を使用します）

2.　2014年度販売店様向け新人コース開催

毎年多くの販売店様にご参加いただいております「販売店様向け新人コース」開催のご案内をいたします。

1）日程：　2014年5月12日（月曜日）～16日（金曜日）

2）コース内容：「販売店様向け新人」コースをご参照ください

3）場所：　アズビル／藤沢トレーニングセンター

4）定員：　**最大20名様**

5）受講条件：　弊社販売店様

6）申し込み開始：　即日

7）締め切り：　先着順に受付し、定員に達し次第締め切りといたします

2014年4月～2014年9月 トレーニングコース日程表

円内数字（①②③・・・）は開催順を、そのあとの数字は開講期日です

分類		コース名	コースコード	日数	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般向け定期無料	基本	温度制御と調節計	CIC	2	12	①7～8		②23～24	③3～4	④25～26	⑤4～5
		SRF記録計	CIF	1	6				①2		
		センサ・スイッチ	CHS	2	8			①26～27			
		燃焼制御	CFC	3	12		①21～23	②9～11		③4～6	
		マスフローメータ／マスフローコントローラ	CRA	1	6				①29		
	上位	計装ネットワーク NX	CIX	2	6		①26～27				②29～30
		SDC45A/46A調節計	CID	1	6			①25			
		DCP31調節計	CIE	1	6	①9					
一般向け随時有償	上位	DMC50モジュール調節計	CIL	2	6	随時開催					
		AHC2001	CIM	2	6	随時開催					
		AHC2001応用	CIN	1	6	随時開催					
販売店様向け無料	入門	販売店様向け新人	CWA	5	20		①12～16				
	基本	販売店様向け調節計	CWB	3	12				①9～11		
		販売店様向けセンサ・スイッチ	CWC	3	12			①16～18			
		販売店様向け記録計／マスフロー	CWJ	3	6					①20～22	②24～26
		販売店様向けフィールド機器	CWF	2	8			①2～3		②4～5	
		販売店様向け調節弁	CWG	1	8			①4		②6	
	上位	販売店様向け各種調節計／記録計の設定実習	CWK	3	6						

2014年10月～2015年3月 トレーニングコース日程表

円内数字（①②③・・・）は開催順を、そのあとの数字は開講期日です

分類		コース名	コースコード	日数	定員	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般向け定期無料	基本	温度制御と調節計	CIC	2	12	⑥6～7	⑦4～5		⑧26～27	⑨2～3	⑩2～3
		SRF記録計	CIF	1	6			②5			
		センサ・スイッチ	CHS	2	8	②23～24			③22～23		
		燃焼制御	CFC	3	12		④25～27		⑤13～15		⑥9～11
		マスフローメータ／マスフローコントローラ	CRA	1	6		②28			③20	
	上位	計装ネットワーク NX	CIX	2	6						③23～24
		SDC45A/46A調節計	CID	1	6		②6				
		DCP31調節計	CIE	1	6				②28		
一般向け随時有償	上位	DMC50モジュール調節計	CIL	2	6	随時開催					
		AHC2001	CIM	2	6	随時開催					
		AHC2001応用	CIN	1	6	随時開催					
販売店様向け無料	入門	販売店様向け新人	CWA	5	20						
	基本	販売店様向け調節計	CWB	3	12						
		販売店様向けセンサ・スイッチ	CWC	3	12						
		販売店様向け記録計／マスフロー	CWJ	3	6						
		販売店様向けフィールド機器	CWF	2	8		③17～18			④2～3	
		販売店様向け調節弁	CWG	1	8		③19			④4	
	上位	販売店様向け各種調節計／記録計の設定実習	CWK	3	6				①19～21	②16～18	

希望するコースと推奨する事前受講コース

ご希望されるコースに対して事前に受講のご推奨をするコースの位置づけ

1．一般向け

	基本コース	上位コース
調節計	温度制御と調節計	SDC45A／46A調節計
		DCP31調節計
		計装ネッワーク NXモジュール
		DMC50モジュール調節計（**有償**）
		AHC2001／AHC2001応用（**有償**）
記録計	SRF記録計	
センサ・スイッチ	センサ・スイッチ	
燃焼制御	燃焼制御	
マスフロー	マスフローメータ／コントローラ	

2．販売店様向け

入門コース	基礎コース	上位コース
販売店様向け新人	販売店様向け調節計	販売店様向け調節計／記録計の設定実習
	販売店様向け センサ・スイッチ	
	販売店様向け記録計／ マスフロー	販売店様向け調節計／記録計の設定実習 （マスフローは含みません）
	販売店様向けフィールド機器	
	販売店様向け調節弁	

一般向け定期無料コース

センサ・調節計・燃焼制御・マスフロー関連の製品に対してその動作原理や基本操作および関連知識を習得できる各種コースをご用意しております。
トレーニングコースは一般のお客様はもちろんのこと、弊社販売店様もお申込みできます。

温度制御と調節計コース（２日間）　定員：１２名

身近なプロセスである「温度」を通して制御の基礎、各種制御動作を理解します。
調節計（SDC36）の基本操作実習と電気ヒータを使用したPID動作、アクティバル電動弁を使用してのコントロールモータの動作実習をします。 また、パソコンローダの操作実習をします。

	午　前	午　後
第１日目	●温度制御の基礎 ●各制御動作の説明 ＯＮ－ＯＦＦ、比例制御 積分動作／微分動作	●調節計／ヒータユニットによるPID動特性実習とオートチューニング実習
第２日目	●SDC調節計を使用して良く使う機能活用実習	●パソコンローダ操作実習 ●調節計とアクティバルの調整実習

対象者：調節計を初めて使用される方。

プログラム調節計ＤＣＰ３１コース（１日間）　定員：６名

プログラム調節計DCP31の基本操作を通じて使い方を習得します。 タイムイベント、ギャランティソークなどの特有な機能実習をします。 電気ヒータを使用してプログラム運転実習もします。

	午　前	午　後
第１日目	●プログラム調節計の概要と特長 ●プログラム調節計の計装例 ●操作とプログラミング実習 基本プログラム	●プログラミング実習 イベント、ギャランティソークなど ●ヒータを使用したプログラム制御実習

対象者：調節計の基本的な知識をお持ちの方。

ＳＤＣ４５Ａ／４６Ａ調節計コース（１日間）　定員：６名

高機能調節計SDC46Aシリーズは従来のSDC36シリーズと比較し高機能がゆえに設定項目が煩雑になっています。SDC46Aシリーズの基本設定と基本機能の使い方を習得します。

	午　　前	午　　後
第１日目	●SDC45A／46Aの概要 ●SDC45A／46A設定上の 注意点 （SDC36との相違点を説明）	●基本機能実習 ●パソコンローダの実習

対象者：温度制御と調節計コース修了者又は同程度の知識をお持ちの方。

計装ネットワーク　ＮＸコース（２日間）　定員：６名

計装ネットワークNXの調節計モジュールについて基本的な設定方法とモニタに使用するNXエンジツールの使い方を習得します。また、モジュール間通信設定と動作実習、Ethernet対応表示器との通信設定と動作実習をします。追加された機能として、カレントトランスによる電流測定、スーパーバイザーモジュール、パルス入力モジュールの実習をします。

	午　　前	午　　後
第１日目	●Ethernetについて ●NXシリーズの特長と機能 ●NXエンジツールの使い方 設定、モニタ	●NXエンジツールの使い方 設定、モニタ ●モジュール間通信 ●リング通信
第２日目	●Ethernet対応表示器との通信 ●カレントトランスを用いた電流実効値測定	●スーパーバイザーモジュール （温度差制御） ●パルス入力モジュール

対象者：温度制御と調節計コース修了者又は同程度の知識をお持ちの方。

ＳＲＦ記録計コース（１日間）　定員：６名

SRF200打点式記録計の特長と機能を理解し、コンフィギュレーションの基本設定実習と応用機能の解説をとおして、記録計の操作と使い方を習得します。

	午　　前	午　　後
第１日目	●SRF200の概要および特徴 ●SRF200打点式の操作実習	●SRF200打点式の操作実習 ●パソコンローダの操作説明

対象者：記録計を初めて使用される方。

センサ・スイッチコース（２日間）　定員：８名

マイクロスイッチ、リミットスイッチ、光電スイッチ、近接スイッチ、の特長と機能および使用上の注意事項を実習を通じて習得します。
汎用光電センサの実習は、HP7を使用します。

	午　前	午　後
第１日目	●マイクロスイッチの概要と特長 構造／動作特性／他 ●リミットスイッチの概要と特長 構造／動作特性／用途	●近接スイッチの概要と特長 用途／動作原理他 ●近接スイッチの動作実習
第２日目	●光電スイッチの概要と特長 用途／動作原理他 ●アンプ内蔵光電スイッチの実習	●ファイバ形光電スイッチの実習 ●近接スイッチ、光電スイッチの用途

対象者：各種センサ・スイッチを初めて使用される方。

マスフローメータ／コントローラコース（１日間）　定員：６名

マスフロー（質量流量）による気体の流量計測の原理を理解します。マスフローコントローラCMQ－V、マスフローメータCMS、大流量マスフローメータCML、ガス流量モニタCMG等の製品について特長、機能を計装例を通じて理解します。

	午　前	午　後
第1日目	●マスフロー製品の種類と特長 マスフローセンサ マスフローコントローラ ●流量計測の基礎	●計装／取扱上の注意事項 ●MQVマスフローコントローラの特長と実習

対象者：マスフロー製品を初めて使用される方。

燃焼制御コース（３日間）　定員：１２名

燃焼安全装置の基本機能と構成、火炎検出器・バーナコントローラの動作原理、安全遮断弁、リミット・インタロック機器について理解を深めます。また、各種バーナコントローラの動作実習と保守点検用機器の使い方を習得します。
２０１４年度から、１日目の実習機材を『ＲＡ８９０Ｇ』から新製品『ＢＣ－Ｒ２５』に変更して行います。

	午　　前	午　　後
第１日目	●燃焼安全装置の基礎 （改正JISのポイント）	●バーナコントローラBC－R25の仕様および動作説明 ●バーナコントローラBC－R25の燃焼実習
第２日目	●火炎検出器の種類と動作 ●フレームロッドとフレーム信号の関連 ●アドバンストUVセンサ（AUD）の自己点検機能	●バーナコントローラAUR450の仕様および動作説明 ●バーナコントローラAUR450の燃焼実習
第３日目	●マルチバーナ炉の点火方式 ●FRSの仕様および動作説明 ●燃焼安全機器　RXの仕様と動作	●燃焼安全機器　RXの仕様と動作 ●燃焼安全機器　RXの燃焼実習

対象者：燃焼装置の設計、保守、管理、施工、販売をされる方。

一般向け随時有料コース

ＤＭＣ５０モジュール形調節計コース（２日間）　定員：６名

DMC50モジュール形調節計の特長と機能およびパソコンローダの使い方を習得するコースです。演習としてプログラム言語／ファンクションブロックのPID＿A制御演算命令等を使用してプログラミングを作成し、モニタ・動作確認をして理解を深めます。

受講料：64，000円／名（消費税抜き）

	午　　前	午　　後
第１日目	●DMC50の概要 ●DMC50の計装と特長	●アプリケーションの作成 ●パソコンローダの起動
第２日目	●DMC50のプログラム作成実習	●シミュレーションとディパック

対象者：計装に関する基礎知識をお持ちで、高度な装置計装に携わる方。

ＡＨＣ２００１調節計コース（２日間）　定員：６名

AHC2001の特長、機能およびパソコンローダの使い方を習得するコースです。アプリケーション作成演習では各種のプログラミング言語を使用してプログラム作成を行い、AHC2001にダウンロードしてデータをモニタリングや、トレンド動作などを確認して理解を深めます。

受講料：64，000円／名（消費税抜き）

	午　　前	午　　後
第１日目	●AHC2001の概要 ●AHC2001の計装と特長	●アプリケーションの作成 ●パソコンローダの起動
第２日目	●AHC2001のプログラム作成実習	●シミュレーションとディパック

対象者:計装に関する基礎知識をお持ちで、高度な装置計装に携わる方。

ＡＨＣ２００１調節計応用コース（１日間）　定員：６名

AHC2001の高度なプロジェクト作成を習得するコースです。調節計に関する各種のプログラム作成を行います。パターン運転のプログラム作成を行い、AHC2001にダウンロードしてデータのモニタリングや、動作の確認をして理解を深めます。

受講料：32，000円／名（消費税抜き）

	午　　前	午　　後
第１日目	●AHC2001の演習 ＳＰ関連／イベント関連／表示器との接続関連	●SCUユニットの演習 ●パターン運転の演習

対象者：ＡＨＣ２００１調節計コース修了者または同程度の知識をお持ちの方。

弊社販売店様向けコース　（無料）

弊社販売店様向けコースです。入門／基礎／上位コースがあります。

入門コース:　入門の位置づけとしてのコースです。5日間で弊社製品群を学ぶコースです。

①「販売店様向け新人」コース

基礎コース:　工場市場に欠かせない制御機器製品の基礎を学ぶコースです。

①「販売店様向け調節計」コース

②「販売店様向けセンサ・スイッチ」コース

③「販売店様向け記録計／マスフロー」コース （注1）

④「販売店様向けフィールド機器」コース

⑤「販売店様向け調節弁」コース

上位コース:　製品を正しくご使用いただくため設定演習を中心とした実習コースです。

①　販売店様向け調節計／記録計の設定実習」コース （注2）

注1:「記録計コース」と「マスフローコース」を一括コースとしました。

注2:「調節計設定コース」と「記録計／マスフロー設定コース」を一括コースとしました。
ただし、「マスフローについては、基礎コースでの「MQV」の設定と大きな違いがないため削除しました。

販売店様向け新人コース（５日間）　定員：２０名

販売店様新入社員の方を対象に光電・近接センサ、調節計・記録計、燃焼安全機器、マスフロー機器、調節弁・フィールド機器など代表的な機器紹介と実習します。

	午　前	午　後
第１日目	●弊社会社概要と事業紹介 ●マイクロスイッチとリミットスイッチ	●近接スイッチの入門 ●近接スイッチのアプリケーションと動作実習
第２日目	●光電スイッチの入門 ●光電スイッチのアプリケーションと動作実習	●SRF記録計の概要と動作デモ ●マスフロー応用製品と市場
第３日目	●温度制御の入門	●調節計SDC36の動作実習 ●ヒータを使用したPID実習
第４日目	●プロセス市場の製品 ●4大変数	●発信器／電磁流量計の入門 ●調節弁の入門
第５日目	●燃焼安全装置の入門	●バーナコントローラの実習 ●研修のまとめ

対象者：販売店様新入社員の方又は入社１年未満の方。

販売店様向け調節計コース（３日間）　定員：１２名

販売店様新人コース受講後のフォローアップコースです。一般向け「温度制御と調節計」コースの内容に①仕様書の見かたや形番選定、②競合情報、③演習問題と解説、④理解度テストなどを加えたコースです。 また、実習もさらに充実しています。

	午　　前	午　　後
第１日目	●温度制御の基礎 ●SDC調節計を使用した PID動作の実習	●各種制御の種類とデモ ●調節計／ヒータユニットによる PID動特性実習とオートチューニング実習
第2日目	●SDC調節計を使用して良く使う 機能活用実習	●調節計とアクティバル電動弁の調整実習 ●演習問題
第３日目	●調節計の種類と選定ﾎﾟｲﾝﾄ ●パソコンローダ操作実習	●競合情報 ●仕様書の見かた、形番選定 ●理解度テスト

対象者：販売店様向け新人コース受講者又は入社後経験の短い方

販売店様向け記録計／マスフローコース（３日間）　定員：６名

販売店様新人コース受講後のフォローアップコースです。
一般向け「記録計」コース、「マスフロー」コースの内容に①仕様書の見かたや形番選定、②演習問題と解説、③理解度テストなどを加えたコースです。
前回まで、分割していたコースを一括で受けられるようにしました。

	午　　前	午　　後
第１日目	●SRF／ARFの概要、特徴 ●SRF200打点式の操作実習 ●ARF100の操作実習	●仕様書の見かた、形番選定 ●演習問題 ●ARF200の操作実習
第2日目	●流量計測の基礎 ●MQVマスフローコントローラの 特長	●MQVマスフローコントローラの 実習／演習／パソコンローダ ●ＣＭＳ／ＣＭＧとその競合 ●演習問題
第３日目	●MCF／CML／MVFとその競合 ●計装／取扱上の注意事項	●空気で省エネについて ●MCF管理用マスフローメータ ●理解度テスト

対象者：販売店様向け新人コース受講者又は入社後経験の短い方

販売店様向けセンサ・スイッチコース（３日間）　定員：１２名

販売店様新人コース受講後のフォローアップコースです。一般向け「センサ・スイッチ」コースの内容に①仕様書の見かたや形番選定、②競合情報、③理解度テストなどを加えたコースです。 また、実習もさらに充実しています。

	午　前	午　後
第１日目	●マイクロスイッチの概要と特長 構造／動作特性／環境特性他 ●リミットスイッチの概要と特長 構造／動作特性／用途	●リミットスイッチの概要と特長 故障と対策 ●防爆形スイッチ ●仕様書の見かた、形番選定 ●演習問題
第２日目	●近接スイッチの概要と特長 用途／動作原理他 ●近接スイッチの動作実習 ●仕様書の見かた、形番選定	●光電スイッチの概要と特長 用途／動作原理他 アンプ内蔵光電スイッチ／ ファイバ形光電スイッチ ●光電スイッチの動作実習 ●仕様書の見かた、形番選定
第３日目	●光電スイッチ、近接スイッチの アプリケーション調節計 ●競合情報定	●近接スイッチ／光電スイッチの 機種選定演習 ●理解度テスト

対象者：販売店様向け新人コース受講者又は入社後経験の短い方

販売店様向けフィールド機器基礎コース（２日間）　定員：８名

４大変数プロセス（圧力・流量・レベル・温度）の知識と測定原理を習得します。発信器・電磁流量計の基礎知識、動作原理、仕様書の見方、標準形番選定方法を習得します。

	午　　前	午　　後
第１日目	●4大変量（変数）とその基本的な測定方法 圧力、流量、レベル、温度	●電磁流量計の概要と特長 ●電磁流量計　仕様書の見方
第２日目	●電磁流量計選定演習 ●圧力・差圧発信器の概要と特長	●圧力・差圧発信器 仕様書の見方 ●発信器選定演習

対象者：弊社販売店様

販売店様向け調節弁基礎コース（１日間）　定員：８名

空気を駆動源とした調節弁の基礎コースです。調節弁の構造と名称、弁の基本形式、Ｃｖ値計算ソフトの使い方、調節弁及び付属機器の選定方法、仕様書の見方などの基礎知識を習得します。

	午　　前	午　　後
第１日目	●調節弁の概要と特長 構造／各部の説明	●定格Cv値と操作器の選定 ●Cv値計算ソフト Ｖ－cal ●調節弁の仕様書の見方

対象者：弊社販売店様

販売店様向け調節計／記録計の設定実習コース（３日間）

定員：６名

調節計および記録計は機種により操作方法が異なるため、現場で設定に困ったことはありませんか。本コースでは、①複数の調節計、記録計を実際に設定することで操作の違いを確認し、現場での設定作業を短時間で完了できるようにすること、②調節計のPVやMVなどのデータを記録するための設定方法を習得することを目的としています。対象の調節計は、SDC15・SDC36・SDC46A、記録計は、新製品SR100（ペン式）、ARF212（ペーパーレス）を使用します

	午　前	午　後
第１日目	●ＳＤＣ１５の設定 ・熱電対、リニア入力の設定 ・イベント、ＤＩの設定 ・リニア出力の設定	●ＳＤＣ３５の設定 ・熱電対、リニア入力の設定 ・イベント、ＤＩの設定 ・リニア出力の設定
第２日目	●ＳＤＣ４６Ａの設定 ・熱電対、リニア入力の設定 ・イベント、ＤＩの設定 ・リニア出力の設定	●ＳＲ１００記録計の設定 ・熱電対、リニア入力の設定 ・イベントの設定
第３日目	●ＡＲＦ２００記録計の設定 ・熱電対、リニア入力の設定 ・イベントの設定	●調節計と記録計の接続設定 ●理解度確認

対象者：弊社販売店様

受講条件：調節計対象機種、記録計対象機器のそれぞれ１機種の設定操作ができる方

※本コースは、基本的に受講者が取扱説明書を参照しながら設定するコースです。

トレーニングコースのお申込み方法

お申し込み手続き

1) 弊社の営業担当者に、ご希望のコースをお申し込みください。
2) トレーニングコースは、申し込み順の**定員制**となっております。
   コースによっては、空席が少ない場合がありますので、あらかじめ営業担当に
   ご確認していただくことをお勧めいたします。
3) お申込みは『トレーニング受講申込書』（巻末に添付）に必要事項を記入し、弊社
   営業担当者にお渡しください。
4) 『トレーニング受講申込書』は、１人で複数コースまたは１コースに複数人の記入
   ができます。
5) トレーニングセンターから、ご指定いただきました方に宛てて、受講票をＦＡＸで
   お送りします。
6) トレーニング受講の際、受講票をお持ちください。

お願い

・トレーニング資料を事前にお渡しいたしませんのでご了承ください
・コース内容および予定は変更されることがあります
・お客様のご都合により受講取り消しや変更をされる場合は、弊社営業担当者
　にご連絡ください

受講時のご注意とお願い

・ 筆記用具などをご持参ねがいます
・ 保安室で受講票を提示していただき、入門時刻の記入をねがいます
・ トレーニングセンター受付窓口で名札をお受け取りにいただき教室にご案内します
・ 講義は９時から１７時までです、講義最終日は１６時頃の終了予定です
・ 受講中の電話のお取次ぎはいたしません
・ ご連絡がある場合は、“伝言票”でお知らせします
・ 講義内容の録音・録画は固くご遠慮ねがいます
・ 受講期間中にやむえず遅刻・欠席・早退される場合は、トレーニングセンターにご
　連絡ください
・ 昼食は、お食事券（無料券）をお渡しし、弊社食堂にご案内します

トレーニングセンターへのアクセス

藤沢トレーニングセンター

住　所：〒251-8522 藤沢市川名１－１２－２

（藤沢テクノセンター内　３０建物５Ｆ）

ＴＥＬ：０４６６－２０－２２７１

ＦＡＸ：０４６６－２０－２２７４

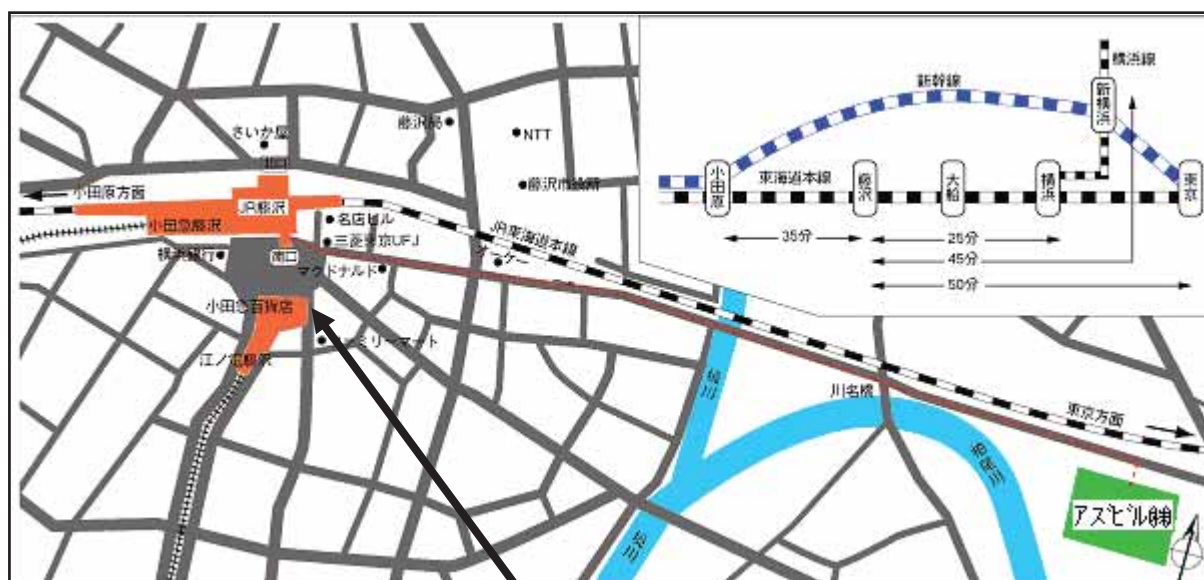
会場には駐車場設備はございません。公共交通機関をご利用ください。

公共交通機関

藤沢駅（ＪＲ・小田急・江ノ電）下車　徒歩約１２分

ＪＲ藤沢駅までは

ＪＲ横浜駅からＪＲ東海道本線　　２５分

ＪＲ小田原駅からＪＲ東海道本線　３５分

乗り場：藤沢駅南口　小田急百貨店前７番線

通勤専用送迎バス時刻表　　　　お客様もご利用ください。料金は不要です。

☆ 藤沢駅→「アズビル」藤沢テクノセンター行（乗り場：藤沢駅南口　小田急百貨店前７番線）

８時	００　０５　１０　１５　２０　２５　３０ ３５　４０　４５　５０

＊バスの発車時刻は変更される場合があります。受講票に記載の時刻を確認してください。

■宿泊先について

申し訳ありませんが、お客様ご自身で手配していただきますようお願いいたします。

トレーニング受講申込書

年　　月　　日

お客様ご記入欄

ご住所	〒		
フリガナ 会社名		フリガナ 事業所	
お申込責任者	所属	TEL	
	役職	FAX	
	フリガナ 氏名	受講票送付先	□お申込責任者へ一括送付 □受講者へ送付

本コース を何でお知りになりましたか？（いくつでも）
□コンポクラブを見て　□アズビルのホームページを見て　□弊社営業の紹介
□職場の上司／同僚の勧め　□その他（　　　　　　　　　　）

コース名	期間	（フリガナ） 受講者ご氏名
	年　月　日～ 月　日	
	年　月　日～ 月　日	
	年　月　日～ 月　日	
	年　月　日～ 月　日	
	年　月　日～ 月　日	
	年　月　日～ 月　日	
	年　月　日～ 月　日	
通信欄		

営業担当（記入必須）

事業所		TEL	
所属		FAX	
氏名		携帯	
通信欄			

※システム製品の場合、リリース番号等を選択・記入ください。

・TDCS/APS	□A-MC	□PM100	□PM-EX
・Industrial-DEO	□R320以前	□R350以降	□MIW有
・Harmonas	□R320以前	□R350以降	□MIW有
・Knowledge Power	□R100以前	□R120	□R130
	□R140	□R150	□（　　）
・EneSCOPE	□R120	□R130	□（　　）
・PREXION	□R300以前	□R31x	□（　　）
・MIB	□R1x	□R2x	□（　　）

受講申込書でご提供いただきましたお客様の個人情報は、お客様への受講票の送付に使用します。
この範囲を超えてお客様の個人情報を使用することはありません。

資　料　番　号　　CA1-TNG249
資　料　名　称　　トレーニングコース案内（調節計／センサ／燃焼安全／その他）
2014年 4月 ～ 2015年3月

発　行　年　月　　2014年　1月
改　訂　年　月
制　作／発　行　　アズビル株式会社　藤沢トレーニングセンター

アズビル株式会社

２０１２年４月１日、株式会社 山武はアズビル株式会社へ社名を変更いたしました。